

シリーズ 日米安保50年 第2回

2010 防衛計画の大綱で

日時：11月20日（土）午後1時半～午後4時

講師：飯島 滋明さん

名古屋学院大学経済学部准教授（憲法・行政法）
国会審議から防衛論を読み解く」（共著）三省堂「初学者のための憲法学」
北樹出版 初学者のための憲法学（共著）北樹出版など

場所：東別院会館 蓮の間

地下鉄名城線『東別院』駅下車「4番出口」より上がって、西へ徒歩3分
参加費：800円

7月14日に日本経団連が武器輸出禁止三原則の更なる緩和などを要求する「新たな防衛計画の大綱に向けた提言」を公表し、7月25日には、政府が日米共同開発中の次世代迎撃ミサイル（SM3ブロック2A）の第三国（欧州や中東を想定）輸出を認める調整に入ったとの報道もありました。また、8月には政府の「新たな時代の安全保障と防衛力に関する懇談会」（新「安保防衛懇」）が、年末に予定される新たな「防衛計画の大綱」策定に向けた提言をまとめ、菅首相に提出しました。提言には、「非核三原則」「武器輸出三原則」の見直し、集団的自衛権の行使容認を始め、最小限の防衛力を保有すべきとする「基盤的防衛力」構想を転換し、多様な事態が同時発生する「複合事態」に備え、自衛隊の対処能力の強化が必要とするなど、憲法の平和原則を根本から破壊する内容になっています。

菅民主党政権の下で、年末にも出される「防衛計画の大綱」で日本の「安全保障政策」はどう変わっていくのかを、飯島さんのお話をお聞きし、今後の運動の糧にしたいと思います。多くの方の参加を呼びかけます。

◆主催・・・主催：不戦へのネットワーク

連絡先：名古屋市昭和区鶴舞 3-8-10 労働文化センター2階
TEL：052-731-7517 Eメール/husen@jca.apc.org
<http://www.jca.apc.org/~husen/index.htm>

自衛隊はどのように変わっていくのか